

施工説明書 アラウーノ手洗い（据置タイプ） 品番：（自動）GHA7FS2J（手動）GHA7FS2S

- 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取扱説明書（保証書付き）、施工完了チェックリストは必ず必要事項を記入のうえお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



禁 止

- バスルームなどの湿気の多い場所に設置しない
（感電や火災の原因となります。）
- 分解・改造・説明書記載以外の修理は絶対行わない
（感電・火災・けがの原因となります。）
- 給水管に強い力を加えない
（破損により水漏れの原因となります。）
- 屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には施工しない
（本体が破損し、発火や発煙の原因となります。）

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意



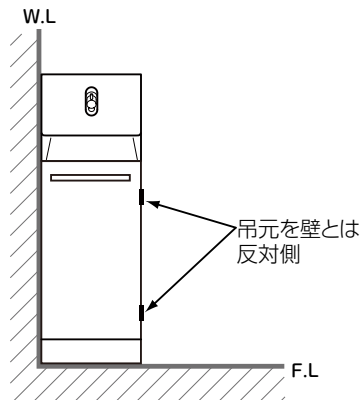
- 自動水栓タイプの場合、電源は必ず交流100V（15A以上）の専用回路が設けられていることを確認する
（守らないと、感電や火災の原因となります。）
- 施工後は必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する
（守らないと、水漏れ、拡大損害の原因となります。）
- 施工後は必ず手洗いボウルや扉のがたつきがないことを確認する
（守らないと、扉の落下によるけがの原因となります。）
- 必ず上水道に接続する
中水道・工場用水・井戸水などに接続しない
（故障・肌のかぶれの原因となります。）
- 施工パネルや本体の壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する
ない場合は、12mm以上の合板で補強する
（守らないと、取付強度が確保できず、転倒落下によるけがの原因となります。）
- 壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する
- 凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う
（水抜きをしないと、水漏れなどで家財などに損害を与えるおそれがあります。）

施工上のお願い/取り付け前に

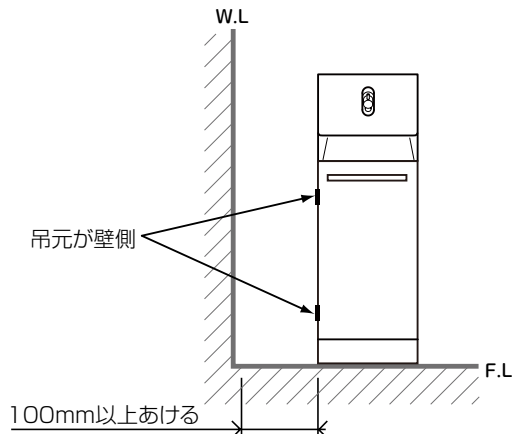
- 便器への立ち座り時に、動作の邪魔にならない位置に施工してください。
- 本体扉が便器に当たらない位置に施工してください。
- 給水管工事は専門業者（指定給水工事事業者）が施工するようにお願いします。
- 配線工事は必ず電気工事店にご依頼ください。
- 使用水道圧範囲は0.069 ～ 0.735MPa {0.7 ～ 7.5kgf/cm²} です。
- 「nanoe」機能パネルを併設する場合、「nanoe」機能パネルから先に施工してください。
- ミラーや収納を併設する場合、手洗い本体から先に施工してください。

手洗いキャビネットの設置および扉の取り付けについて以下の点にご注意ください。

- 手洗いキャビネットを壁に隣接して設置する場合、扉の吊元を必ず壁とは反対側にして取り付ける

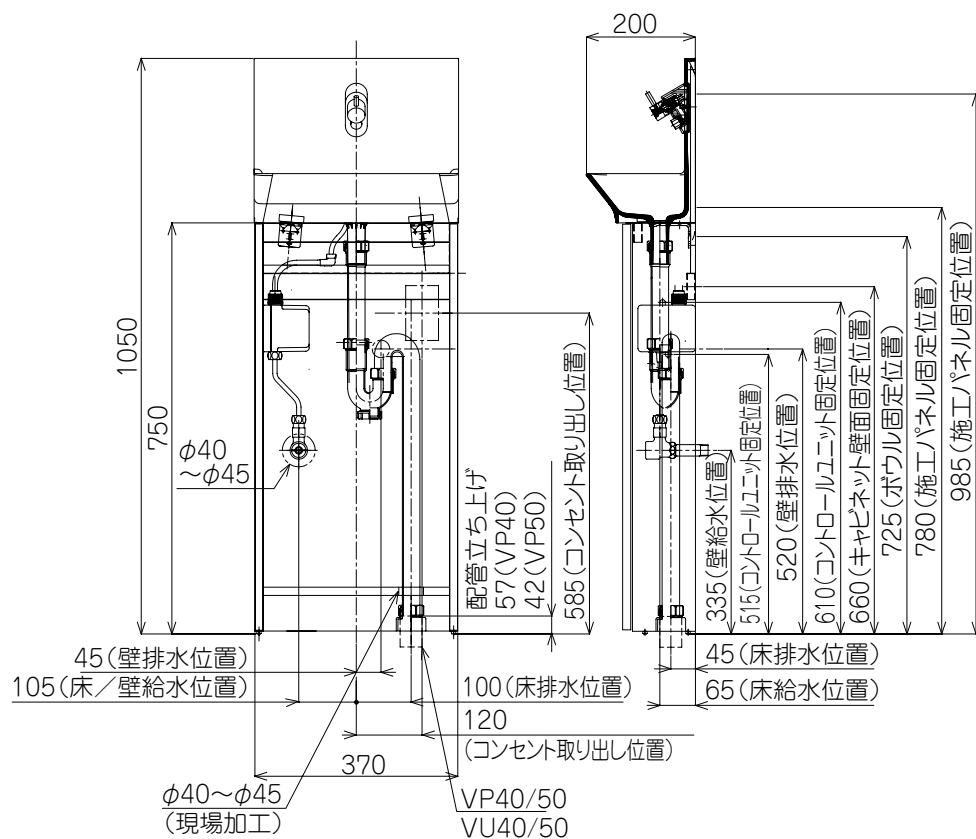


- 扉の吊元を近接する壁側に取り付ける場合、キャビネットを近隣壁より100mm以上離して設置する。

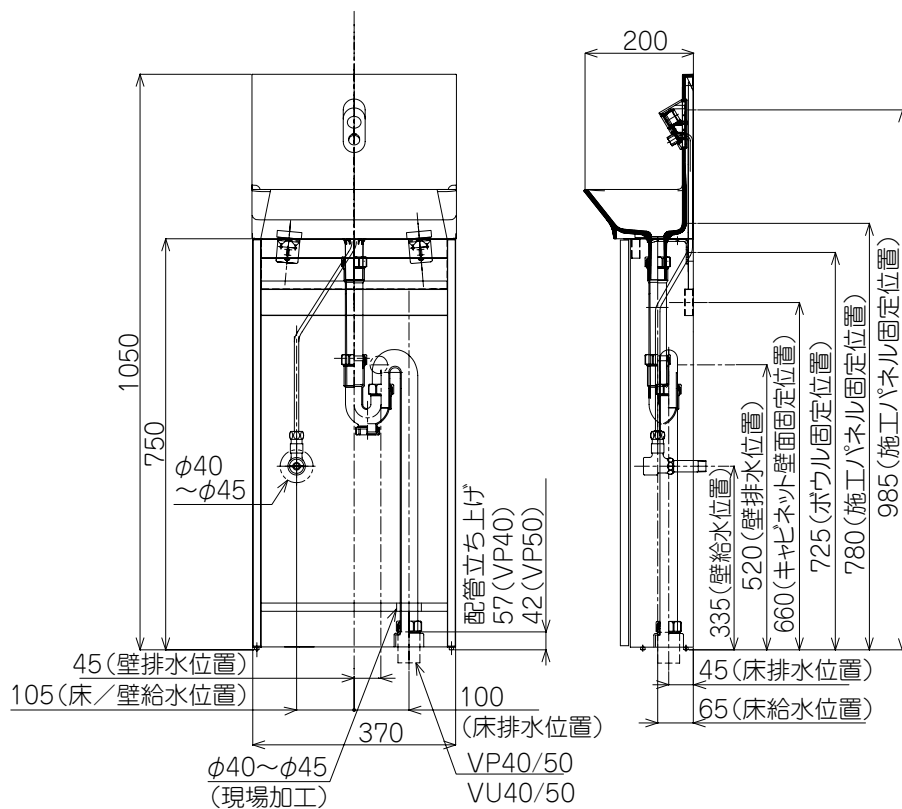


寸法図

■自動水栓



■手動水栓



各部のなまえと部品の確認

⚠ 注意

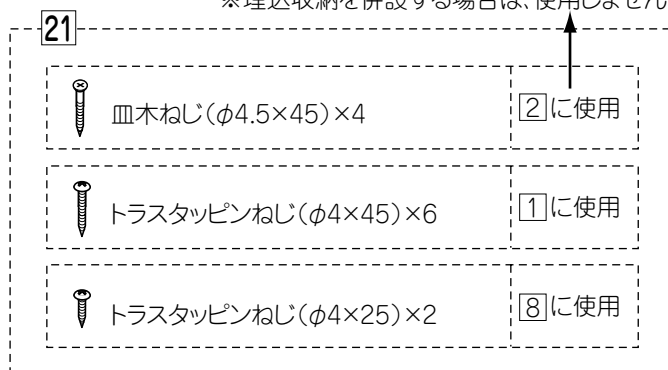


- 施工時は商品の転倒に注意する
(守らないと、けがのおそれがあります。)

【共通部品】

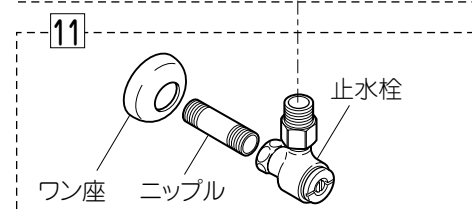
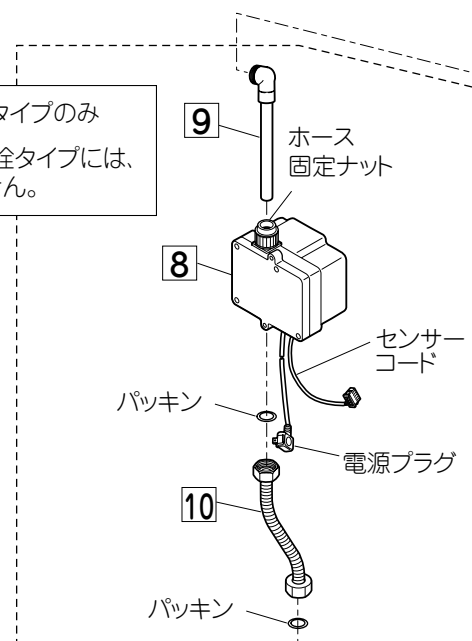
番号	部品名称	入り数
1	ボウル（給水栓付）	1
2	施工パネル	1
3	側板	2
4	後枠	1
5	蹴込板	1
6	底板	1
7	幕板	1
8	コントロールユニット	1
9	エルボ付給水ホース	1
10	フレキ管	1
11	止水栓セット	1
12	USTラップ	1
13	テールピース	1
14	Uトラップ	1
15	排水プレート	1
16	封臭栓	1
17	別 扉	1
18	別 取っ手	2
19	別 穴隠しキャップ	2
20	別 丁番台座	1
21	タッピンねじセット	1
22	パネル間パッキン	1
23	給水プレート	1
24	キャビネット用ねじセット	1
25	穴隠しキャップセット	1
26	取扱説明書	1
27	施工説明書（本書）	1
28	施工パネル用ねじセット	1

※埋込収納を併設する場合は、使用しません。

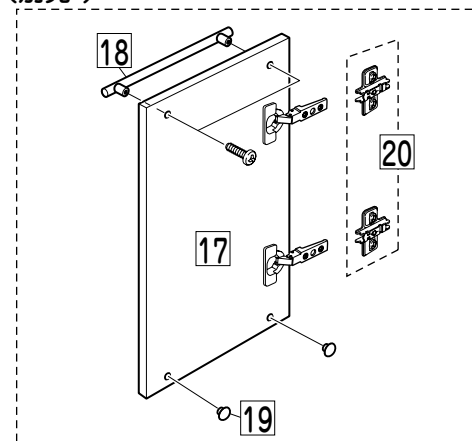


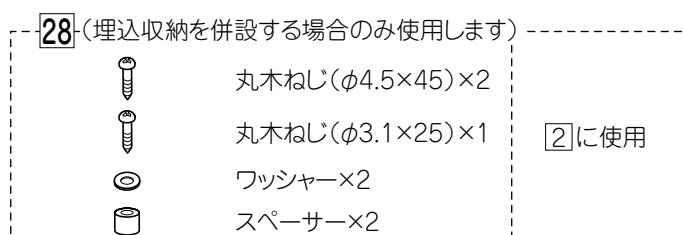
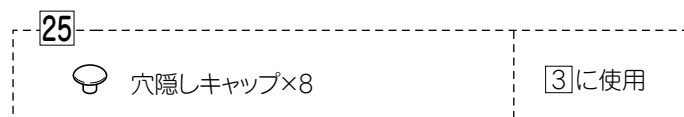
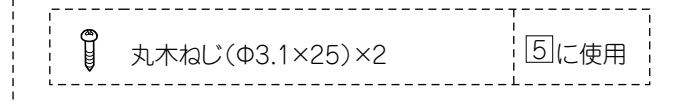
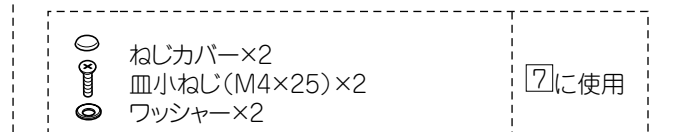
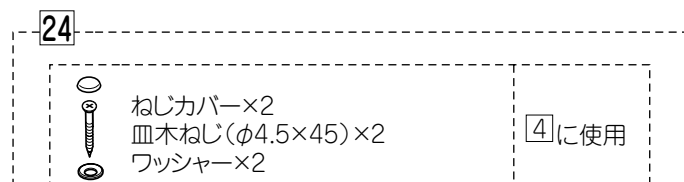
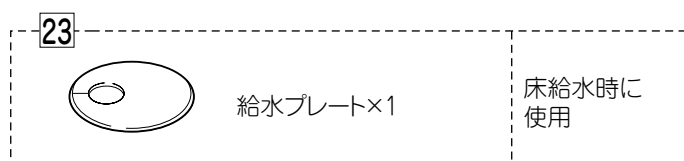
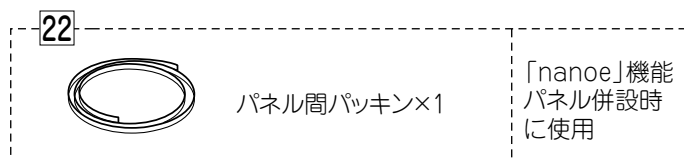
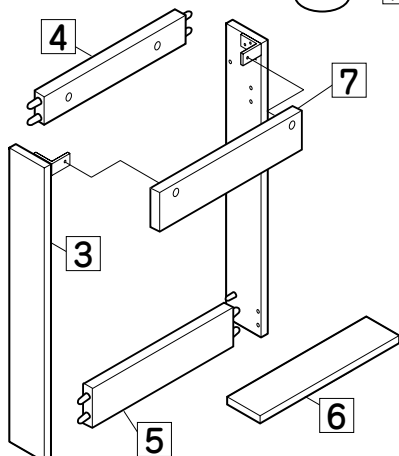
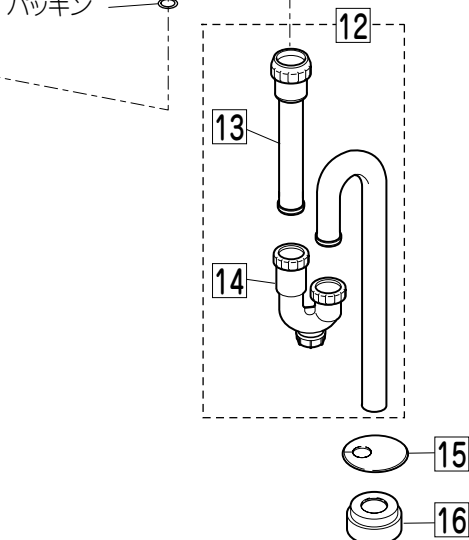
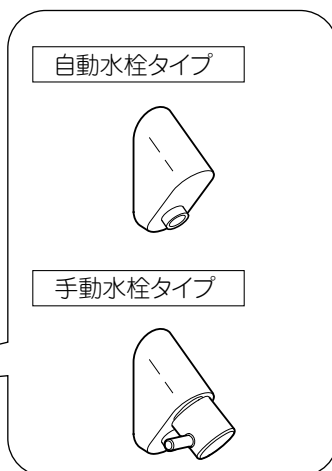
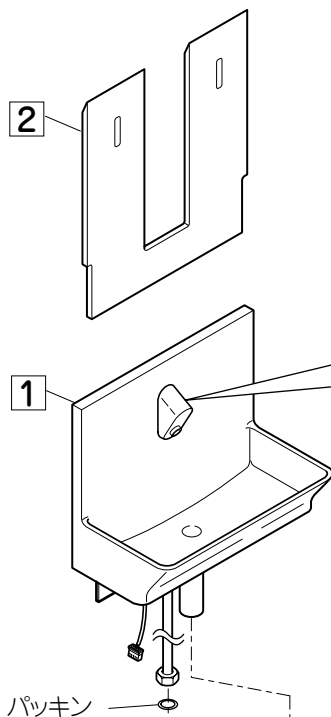
自動水栓タイプのみ

※手動水栓タイプには、ありません。



(別売)





施工のしかた

※「nanoe」機能パネルを併設しない場合は、手順2に進んでください。

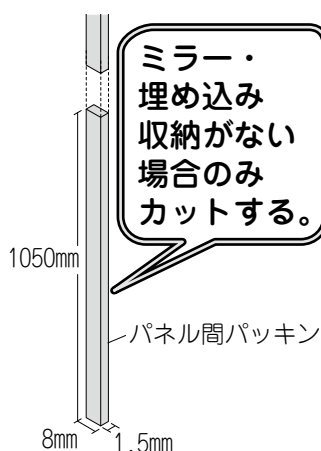
1 パネル間パッキンのはり付け（「nanoe」機能パネルを併設する場合）

施工上のお願い

- 「nanoe」機能パネルを併設する場合は、「nanoe」機能パネルから施工してください。

①〈ミラー・埋め込み収納がない場合〉 パネル間パッキンをカットする。

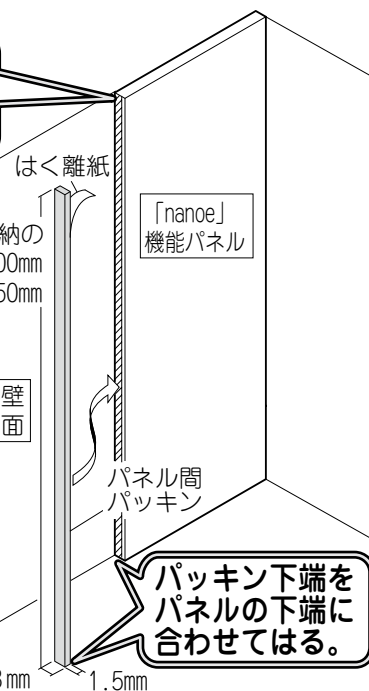
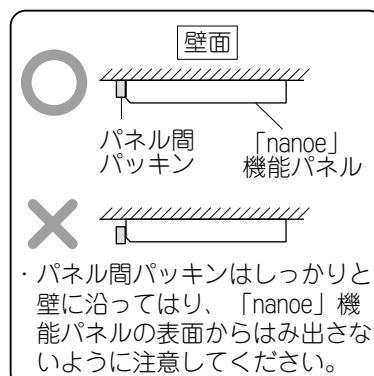
- ミラー・収納がある場合は、カットする必要はありません。



②パネル間パッキンのはく離紙をはがし、「nanoe」機能パネル側面にはり付ける。

パッキンが余ったときは、
パネルの天面に合わせて
カットする。

ミラー・埋め込み収納の
ある場合：1900mm
ない場合：1050mm



2 キャビネットの組み立てと取り付け

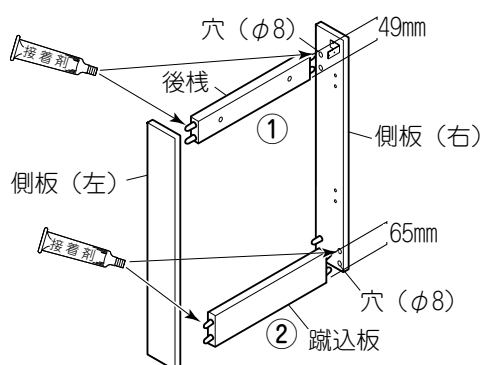
施工上のお願い

- 接着剤は、穴の深さの1/2程度まで入れてください。
- はみ出した接着剤はきれいにふき取ってください。
- 十分な壁面強度があることを確認してください。
(ない場合は、12mm以上の合板で補強してください。)

①側板の穴に接着剤を入れて、後棧を側板に取り付ける。

②側板の穴に接着剤を入れて、蹴込板を側板に取り付ける。

- 側板と後棧および蹴込板の間にすき間ができないようにしっかりとはめ込んでください。

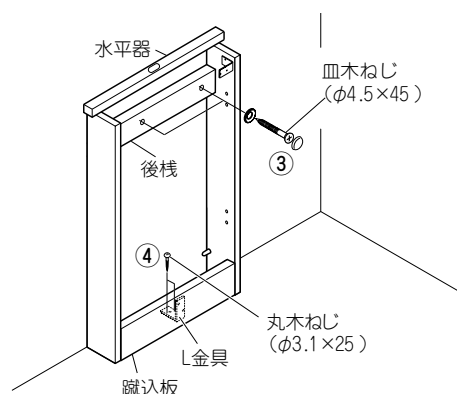


埋込収納を併設する場合は、**②③～⑤**の施工手順を
別紙「埋込収納を併設する場合の施工方法」をご覧ください

③後棧を壁に皿木ねじ（φ4.5×45）で固定する。

④蹴込板のL金具を床に丸木ねじ（φ3.1×25）で固定する。

- 水平器を使用し、キャビネット天面が水平となるように固定してください。
- がたつきのないようにしっかりと固定してください。



3 施工パネルの取り付け

施工上のお願い

- 十分な壁面強度があることを確認してください。
(ない場合は、12mm以上の合板で補強してください。)
- 施工パネルは、水平器などを使用して必ず水平に取り付けてください。
(傾いて取り付けると、手洗い時にボウル内に水が残ることがあります。)
- 施工パネルの取り付け向きに注意してください。

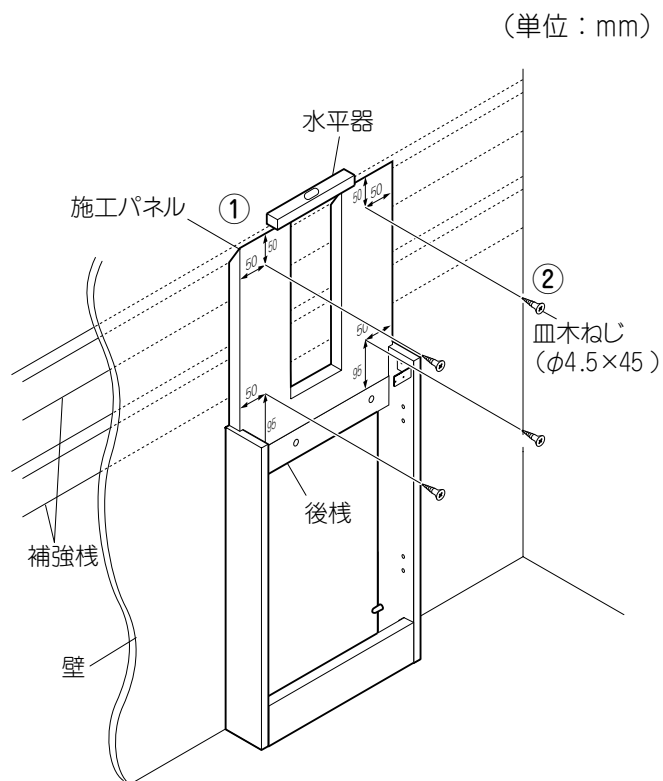


① 施工パネルを後枠の上に置く。

② 施工パネルを壁に皿木ねじ (φ4.5×45) で固定する。

・ 下穴に合わせてねじ留めしてください。

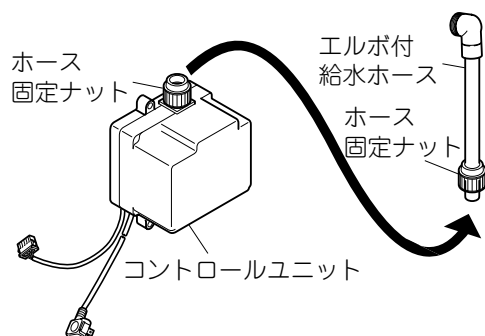
(十分な壁裏下地強度があることを確認してください。)



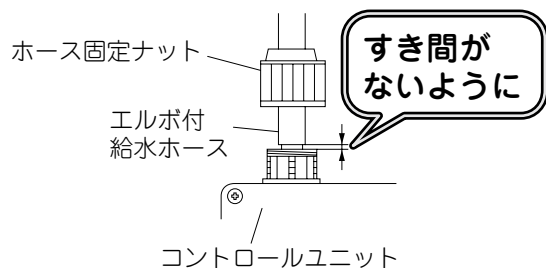
※ 手動水栓の場合は、手順5に進んでください。

4 コントロールユニットの接続 (自動水栓の場合)

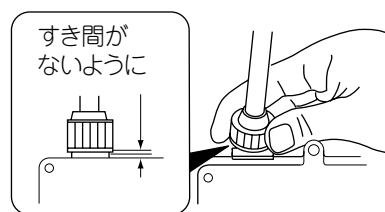
① コントロールユニットからホース固定ナットを外し、ホース固定ナットをエルボ付給水ホースに通す。



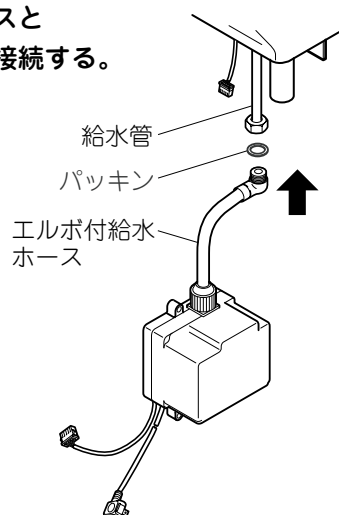
② 給水ホースをコントロールユニットに差し込む。



③ ホース固定ナットをコントロールユニットねじ部に手でしっかりと締める。



④ 給水ホースと給水管を接続する。



5 手洗いボウルの取り付け

①手洗いボウルを施工パネル上部に引っ掛ける。

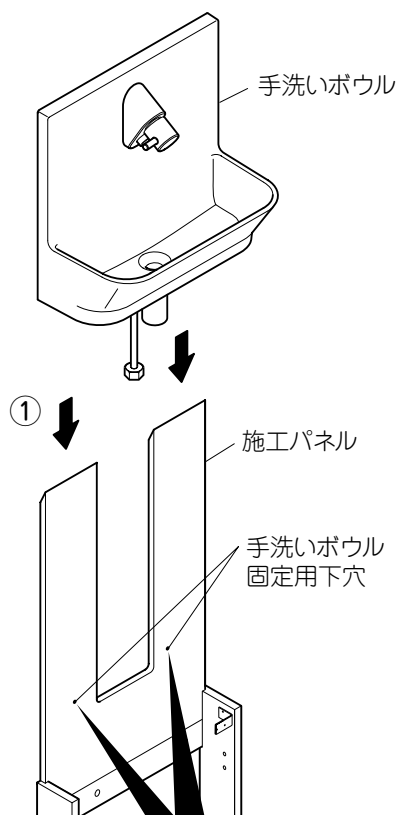
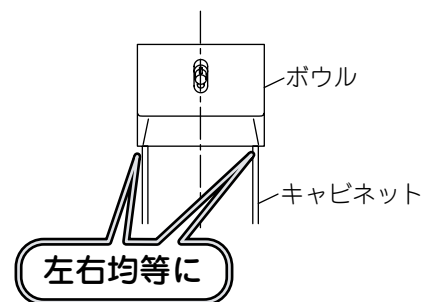
②手洗いボウルの位置を調整する。

・ボウルとキャビネットの納まりを左右均等にしてください。

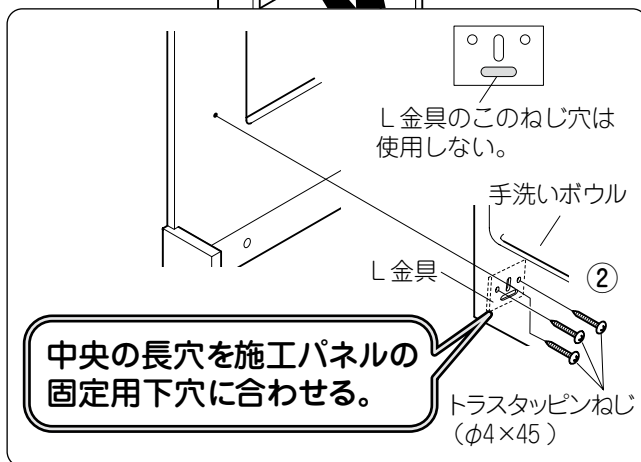
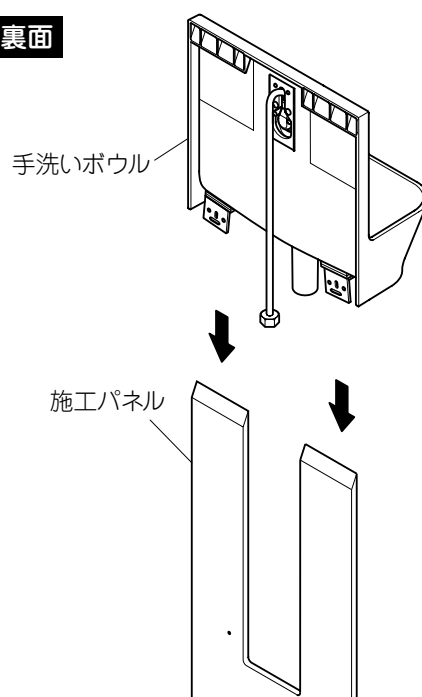
③手洗いボウルを施工パネルに固定する。

・ボウルと壁面・ボウルとキャビネットの間に、すき間ができないようにしてください。

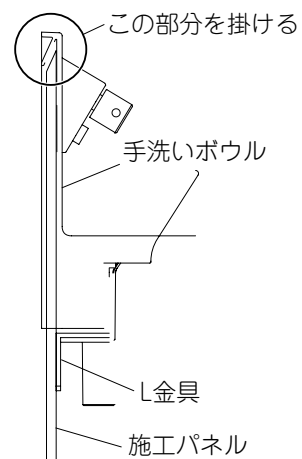
・ボウルにがたつきがないように固定してください。



裏面



断面図



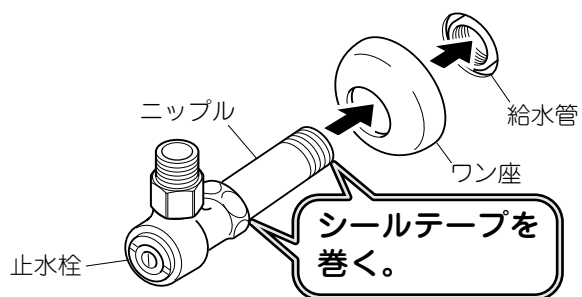
※手動水栓の場合は、手順7に進んでください。

6 止水栓・コントロールユニットの取り付け（自動水栓の場合）

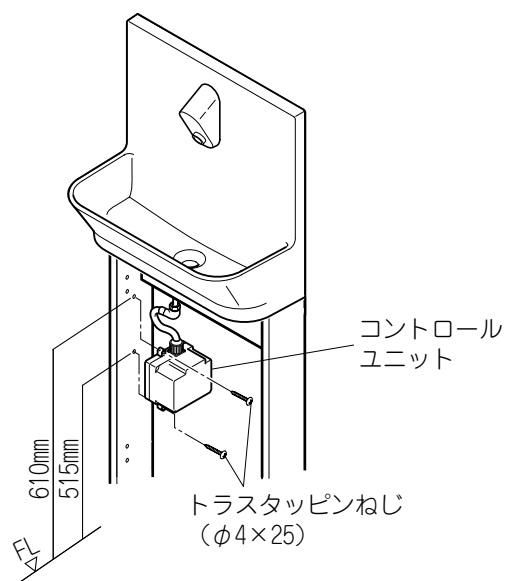
施工上のお願い

- 止水栓を取り付ける前に、給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い流してください。

① 止水栓を取り付ける。

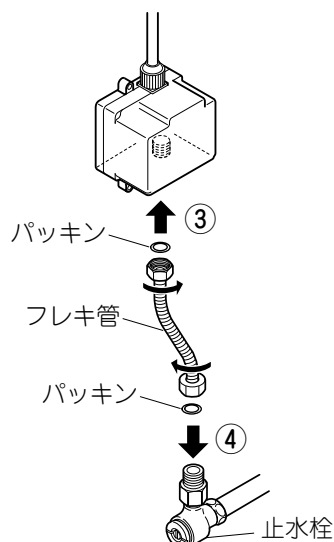


② コントロールユニットを側板に取り付ける。



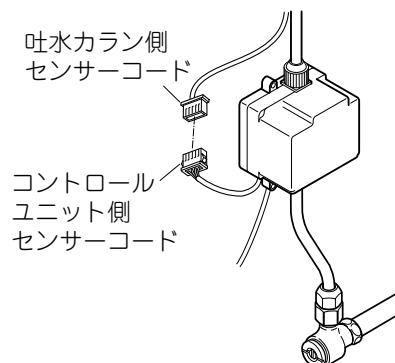
③フレキ管上端をコントロールユニットに接続する。

④フレキ管下端を止水栓に接続する。



⑤センサーコードを接続する。

・吐水カランとコントロールユニットのセンサーコードを接続してください。



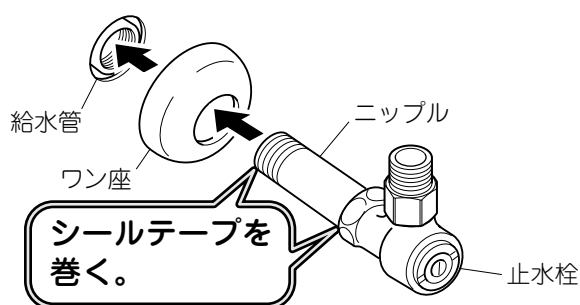
※自動水栓の場合は、手順8に進んでください。

7 給水栓の取り付け（手動水栓の場合）

施工上のお願い

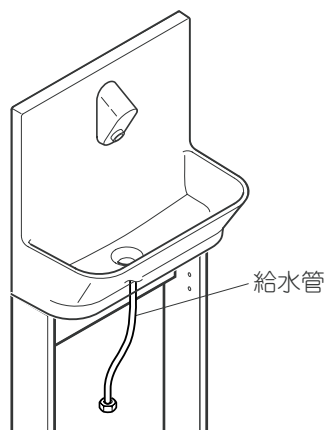
- 止水栓を取り付ける前に、給水管内のゴミ、砂などを完全に洗い流してください。

①止水栓を取り付ける。

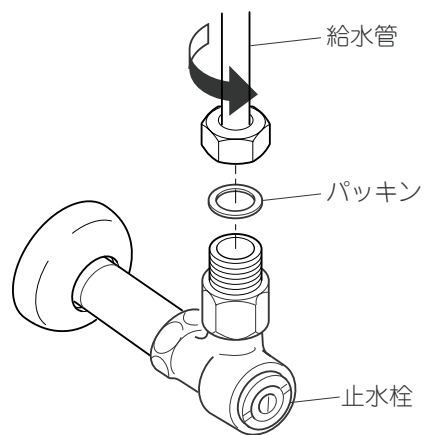


②給水管を曲げる。

・水路が狭くならないようにしてください。

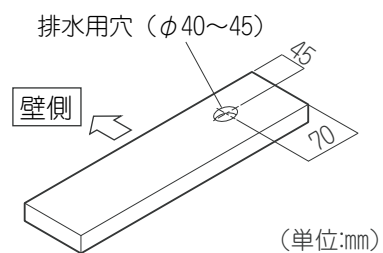


③給水管を取り付ける。



8 キャビネット底板の穴開口

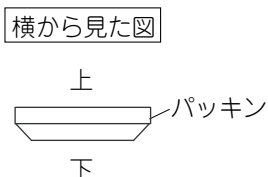
①底板を開口する。



9 排水栓の取り付け

施工上のお願い

- 床給水時に給水プレートと排水プレートが重なった場合、いずれかのプレートをカットしてください。
- パッキンの取り付け向きに注意してください。

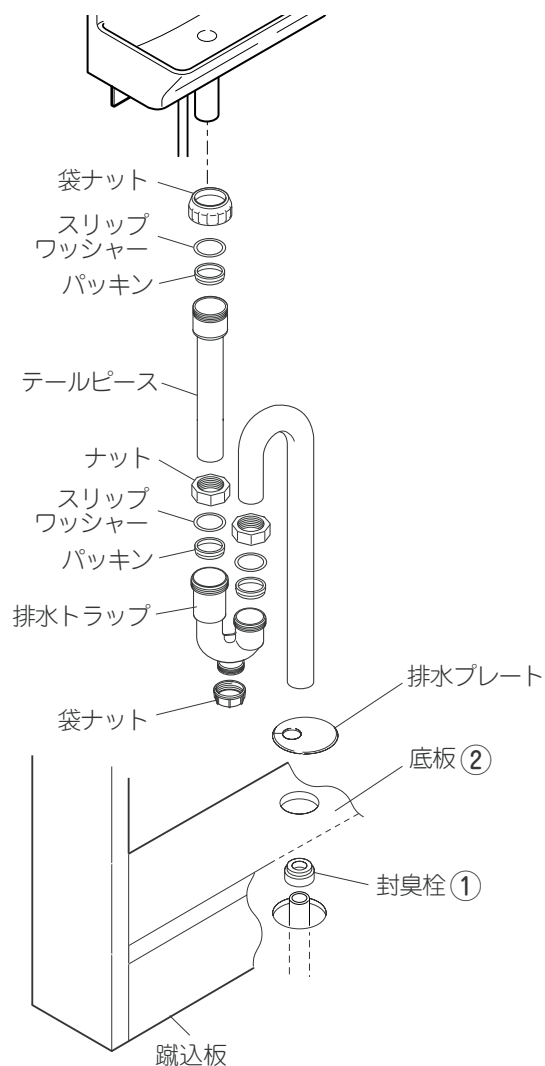


①排水管に封臭栓をはめ込む。

②底板を蹴込板の上に載せ、排水管を取り付ける。

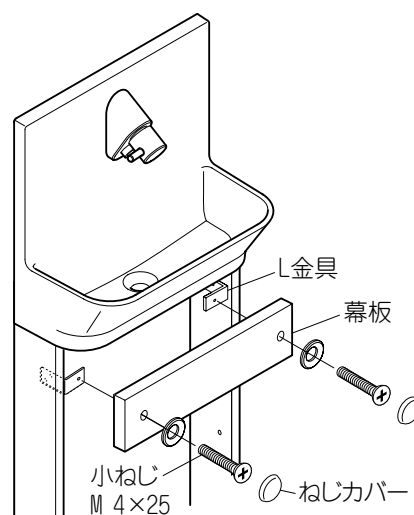
- ・排水管はしっかりと接続してください。
- ・接続が緩いと水漏れの原因となります。

※壁排水の場合は、GL903Pを使用してください。



10 幕板の取り付け

①幕板をキャビネット側板のL金具に、小ねじ（M4×25）で取り付ける。



11 扉（別売）の組み立てと取り付け

扉の開閉方向を決めて下図に従って、取っ手を取り付けてください。

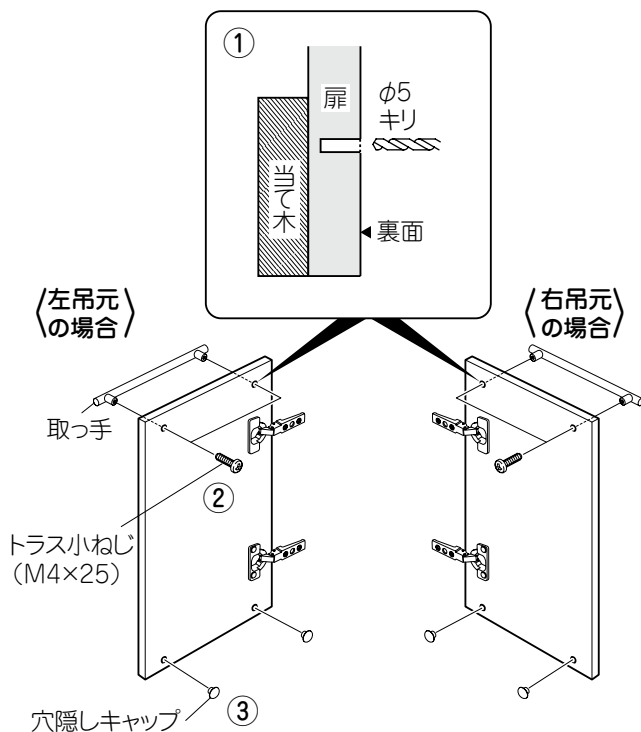
ご注意 扉を開けたときに扉や取っ手が壁に当たらないことを確認の上、吊元を決めてください。

①扉に取っ手用下穴を貫通させる。

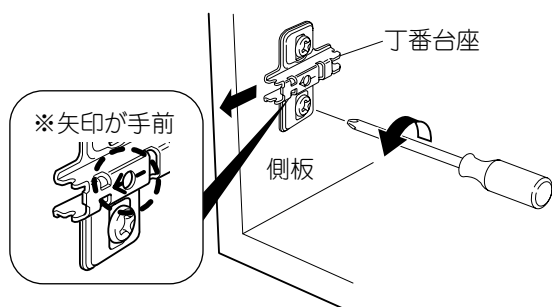
- ・左吊元と右吊元で取っ手の取り付け位置が異なります。
- ・下穴を貫通させる時は、扉表面に当て木し、バリ発生を防いでください。

②取っ手を取り付ける。

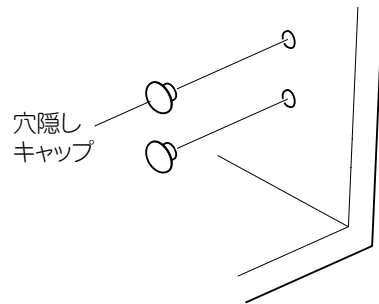
③扉の不要の穴に付属の穴隠しキャップを取り付ける。



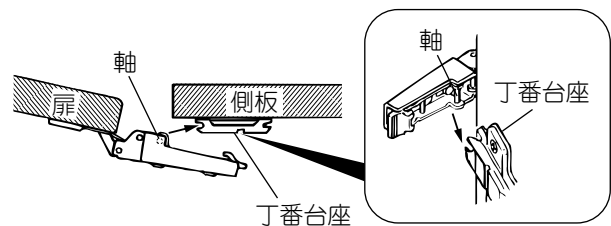
④キャビネット側板の穴に丁番台座を取り付ける。



⑤キャビネット側板の不要の穴（逆側）に付属の穴隠しキャップを取り付ける。

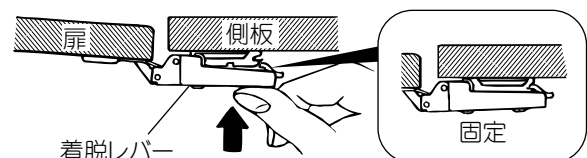


⑥キャビネット側板の丁番台座に、扉側の軸を差し込む。



⑦着脱レバーを押さえる。

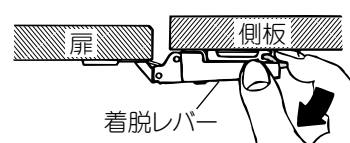
- ・「ガチッ」と鳴るまで押さえてください。



⑧扉を持って2～3回開閉し、丁番が確実に固定されているか確認する。

施工上のお願い

- 丁番・丁番台座はできるだけ外さないようにしてください。
- 扉を取り外す際は、着脱レバーをつまんで外してください。



- 丁番台座を取り外す際は、側板の穴を傷つけないようにゆっくり外してください。

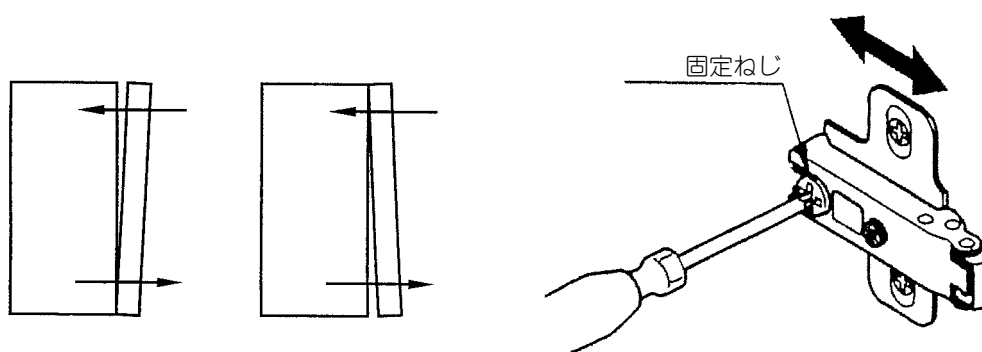
12 扉の調整

施工上のお願い

- 扉の段違いなどがある場合、下記の要領で調整してください。
- 調整後は、固定ねじに緩みがないかを必ず確認してください。

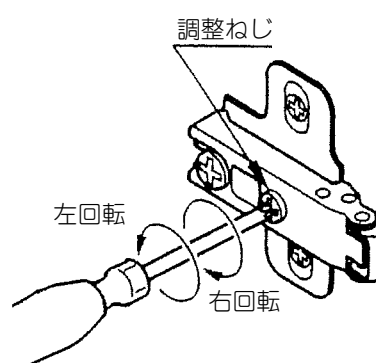
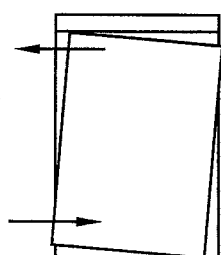
① 丁番台座の固定ねじを緩め、前後調整する。

・ 調整後は、再度ねじを締めてください。



② 丁番台座の調整ねじを回して、左右の傾きを調整する。

右図のような場合
上は左回し
下は右回し

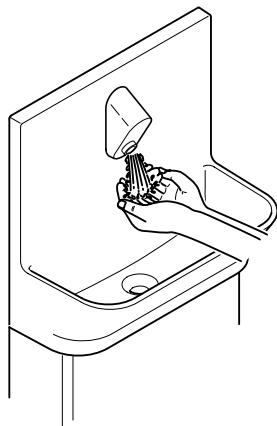


確認と点検

1 水の出の確認

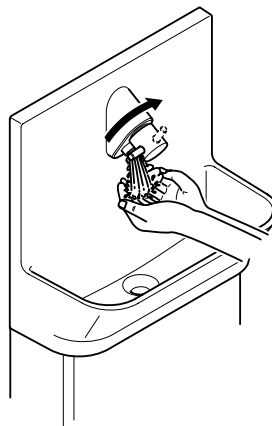
〈自動水栓の場合〉

①ボウルの中に手を入れ、水が出ることを確認する。



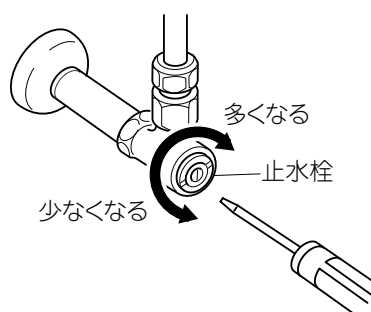
〈手動水栓の場合〉

①つまみを回し、水が出ることを確認する。



施工上のお願い

- ボウルから水ハネする場合は、止水栓で流量を調節してください。

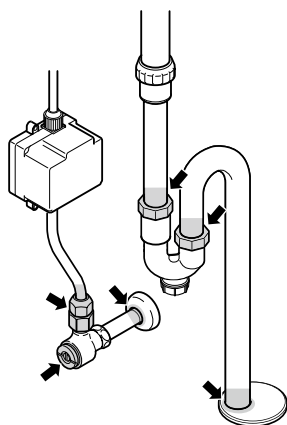


2 水漏れの確認

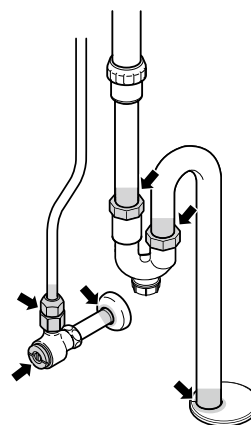
①配管接続部を増し締めする。

・緩んでいると、水漏れ拡大損害の原因となります。

〈自動水栓タイプ〉



〈手動水栓タイプ〉



②水漏れが無い確認する。

施工完了チェックリスト

商品を取り付けられた方へのお願い!!

施工後、このチェックリストに従って施工確認をしていただき、結果を記入のうえ、お客様にお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	キャビネットにがたつきはありませんか？	
2	配管部から水漏れはありませんか？	
3	給水栓から水は出ますか？	
4	扉のがたつきやゆがみはありませんか？	

⚠ 注意



- 冬期は、お引き渡しまでに凍結による破損が予想されるため、水抜きなどの凍結予防措置を行う
(守らないと水漏れ拡大損害の原因になります。)

施工日	施工店名	担当者名